

学内チャットツール

NT25-A 6班

K021C1258/阿部拓海

K021C1260/唐澤克幸

K021C1252/松本智紀

K021C1259/大槻諒

K021C1248/加藤好太

K021C1286/小出佑希

Why

1. 学内のチャットツール(教師用/生徒用)がバラバラすぎる
2. 既存のシステムだと外部に依存しすぎている
3. Chatworkが改悪
4. 学内で保守できるような環境がある(AWS)
5. プライベート端末に学内のツールをインストールすることに疑問🤔
6. ファイル周りの管理
7. 料金体系などの問題

学内のチャットツールがバラバラ

- 管理がしづらい
- 教員ごとにツールが違うせいで連絡が取りづらい

既存システムでは外部依存が激しい

- なぜかGoogle Workspaceアカウントを割り当てているにもかかわらず、Googleで統一されていない
- もし、外部のツールの場合なにか問題が発生した際のバックアップとなるツールがない
- 追跡や情報収集を嫌う人は一定数いるという部分の解消(すべてOSSとして作り上げる)

Chatworkが改悪

(そもそも商用利用で無償利用はどうか)

- オンプレミス or クラウドで自分で保守するため、インスタンスを飛ばしたりしなければ問題ない(インシデントが発生しない可能性がないわけではない)
- ログは残る

学内で保守できる環境がある

- ゆくゆくはtraSのような同好会の環境を作成することを可能
- AWSが比較的自由に使える環境がある

プライベート端末へ学内ツールのインストール

- プライベートを干渉されたくない
- 教員によっていれるソフトウェアがバラバラのため複数必要
- UIや操作性の一貫性が取れない

ファイル周りの管理

- GDriveをベースにしているが、ChatworkやSlackなどで扱いが違う
- ブラウザ内でプレビュー対応など

料金体系

- 無料で使おうとする教員がほとんどのため、ツールが分散しすぎている
- 海外のツールが多いため、日本円での内課金にはそれなりの追加コストがある
- 誰が負担するのかという問題点がある

